

HEART

ハートクロス
CROSS

芳賀赤十字病院だより

vol.18 2020
April



特集

本多院長就任あいさつ 安田名誉院長就任あいさつ

〜地域とつながる〜 登録医情報 ゆめクリニック (宇都宮市)
みやもと歯科医院 (真岡市)

Topics.....

芳賀日赤市民公開講座を市貝町で実施
臨床研修医卒業式～初期臨床研修医の小堀医師が当院を卒業～
自家末梢血管細胞移植を初めて実施

Information.....

新病院寄付の御礼
新任医師紹介
新入職員入職者数

特集

本多院長就任あいさつ

令和2年4月1日付で新たに当院の院長に就任しました本多先生の挨拶を掲載します。



4月1日から安田是和前病院長の後を引き継ぎ、芳賀赤十字病院の指揮を執らせて頂くことになりました。県東保健医療圏の中核病院である芳賀赤十字病院の歴史や地域医療での重要性を鑑みたとき、その運営を担う責任の重さに身の引き締まる思いが致します。

当院は、大正11年に株式会社芳賀病院として創立され、昭和24年に現在の日本赤十字社栃木県支部芳賀赤十字病院となりました。平成22年4月から急性期病院として包括医療費支払い制度(DPC)に参加し、平成24年4月には地域の医療機関の先生方からのご協力を頂き、地域医療支援病院に承認されました。平成25年からは、独立した県東保健医療圏の中核病院として急性期医療を担い現在に至っています。これまで医師不足など幾多の苦難に見舞われましたが、全職員一丸となり乗り越えてまいりました。現在では

医療スタッフも充実し、地域の皆さまのご期待に応えられる病院として医療を営めるまでになりました。建物の老朽化により長い間、耐震性の向上が望まれておりましたが、2018年12月に真岡市中郷の地に新病院が竣工し、2019年3月から364床の新病院として再出発いたしました。

当院は、これまで真岡市・益子町・茂木町・市貝町・芳賀町の一市四町で構成される県東保健医療圏の地域中核病院として、また、年間4000台を超える救急車を受け入れる医療圏唯一の二次救急医療機関として、地域と共に歩んでまいりました。これからも二次救急医療を中心とした急性期医療に対応するのみならず、併設されている地域周産期母子医療センターの機能を十分に活用し、緊急母体搬送受け入れや新生児治療にも積極的に力を注いでまいります。2016年に開設された回復期リハビリ病棟のさらなる効率的運用により、患者さんの在宅復帰支援の向上を目指すとともに、急速に進む高齢化に向けて設置された認知症疾患医療センターの機能を存分に発揮し、今後増加が予想される認知症疾患にも十分に対応してまいります。また、がん医療に関しても地域がん診療病院としてこれまで同様、積極的にかかわってまいります。

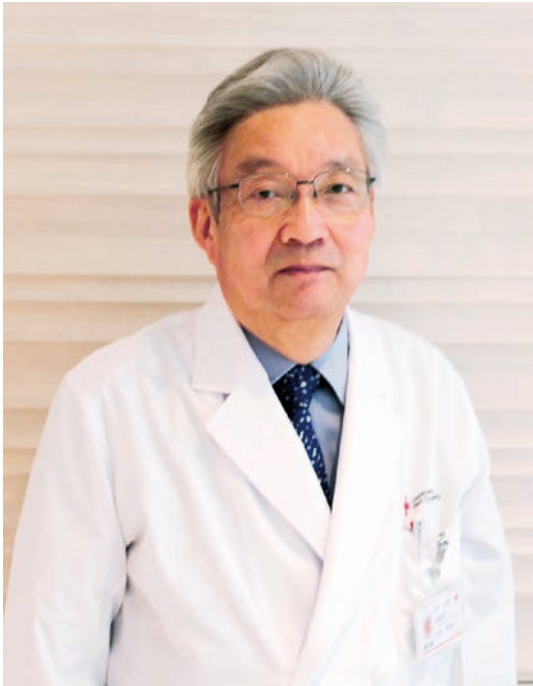
今後も「地域に貢献する病院」の理念のもと、三つの基本方針「患者中心の医療」「安全で質の高い医療」「赤十字の使命に基づいた社会貢献」に沿った事業展開を行い、人材育成や職場環境の改善、健全経営も事業の一つに位置づけ、県東保健医療圏の地域医療支援病院としてさらなる医療の充実に務めてまいります。安全で満足度の高い医療を提供し、地域の皆さまにかかってよかったと思って頂けるような選ばれる病院をめざし、病院運営に努力してまいります。

これからどうぞよろしくお願い申し上げます。

特集

安田名誉院長就任あいさつ

令和2年4月1日付で新たに当院の名誉院長に就任しました安田先生の挨拶を掲載します。



今年の春は新型コロナウイルス感染(COVID-19)の猛威が世界中を襲い、日本の春を混乱に陥れています。春は出会いと別れの季節といわれていますが、当院でも送別会や歓迎会はすべて中止となり、桜の花も例年ほどの美しさがないようにみえます。

私は2015年の春に芳賀赤十字病院・院長として赴任してから今年で5年が経過し、日本赤十字本社から名誉院長の称号を頂きました。この5年間は当院にとりまして新病院建設という大事業を行う期間でしたが、東京オリンピックなどの影響で建築費は高騰し、病院建設には最も不適な時期となってしまいました。しかし旧病院は東日本大震災の被害と影響も少なくなく、特に古い病棟は耐震性に問題が指摘されておりました。安全に患者さんに滞在して頂き、また災害拠点病院としての機能を強化するためには病院建設は吃緊の課題でした。一時は重荷に感じた時期もありましたが、

地域の皆様、栃木県をはじめとする行政の方々からのご支援をいただき、多くの課題はありましたが職員の大変な努力によって建設に着工することができ、2019年3月1日に新病院に移転することができました。厳しい予算のなかで免震構造を中止する案もありましたが、これから半世紀は使われるであろう病院ですので、患者さんのみならず職員も安心して働く事ができる職場であるために免震構造は必須と考え現在の建物が完成しました。もう一つの課題は病院機能評価受審という当院にとって必須な資格取得でありました。2018年病院建設で各方面が忙しいなか、病院機能評価受審の準備を行ってくれた職員には大変感謝しています。高評価で合格できたのは当院職員の底力が示されたものなのでしょう。新病院に移転してからは課題を病院運営に絞って医療活動に専念することが必要です。建設の過程で多額の借入れにより、赤十字病院組織から“重点支援病院”という有り難くない名前をいただいておりますが、新病院への移転してからは順調に経営状態も上向き、近い将来計画通りに黒字転換をしてくれることを願っています。新型感染症というこれまで予想しえなかった災害により世界中が混乱している中での院長交代となり、新院長の本多先生にはご苦労をおかけしますがどうか宜しくお願い致します。

私自身はこれまで外科医として「病気の治療として手術が必要な患者さんに安全な外科手術を提供する」ことだけを念頭に臨床医として生活してきました。前任の自治医科大学で3年間、当院にて5年間、院長として仕事をするのはこれまで考えたこともなく、この8年間は全く異なる経験をすることになり、戸惑いながら病院運営を行ってきました。何とか無事に過ごせてこられたのは、ひとえに先輩、同僚や職員はじめ周囲の方々の支えがあってからであり心から感謝しています。

さて名誉職というのは「名誉ある職ではなく、名義上の職である」(Wikipedia)と記されています。落語の「ご隠居さん」をイメージし、ここ数年十分活用していなかった錆び付いた専門医・指導医の資格をもう一度ブラッシュアップし、力むことなく院内の潤滑油として貢献できることができればと願っています。

～地域とつながる～

登録医情報

地域の先生がたは、地域の患者さんの医療を支える大切なパートナー。地域医療を支えてくれる医療機関の方々がいるからこそ、地域医療連携を進めることができます。

今号は、ゆめクリニック(宇都宮市)とみやもと歯科医院(真岡市)をご紹介します。



〈角田哲男院長からのメッセージ〉

患者さんの笑顔が、僕たちの喜びです。女性の心と身体のことなら、何でもご相談ください。

ゆめクリニック (宇都宮市)

〈対象疾患〉 妊娠、分娩、婦人科疾患、不妊症

〈得意分野〉 周産期医療

● 当院との地域連携について、よかった点を教えてください

ハイリスクの妊婦さんや分娩時の急変、新生児のトラブルなどの時に、素早く、しかも気持ち良く受け入れていただき、とても助かっています。

● 地域の方々へのメッセージ

患者さんの安全を第一にしながらも、優しく、温かい空間と時間を提供できるように、スタッフ一同、努力しています。

基本情報

- 院長：角田 哲男
- 住所：栃木県宇都宮市ゆいの杜 3-14-6
- TEL：028-611-1881
- 診療科目：産婦人科
- 休診日：水曜午後・日曜日・祝日



〈宮本猛院長からのメッセージ〉

地域の皆様のご期待に沿えるよう、今後も頑張ります。何かありましたらご来院ください。

みやもと歯科医院 (真岡市)

〈対象疾患〉 歯科全般

● 当院との地域連携について、よかった点を教えてください

診断や治療に難渋するケースをいつもお願いし、非常に助かっています。対応や連絡等迅速で丁寧です。

● 地域の方々へのメッセージ

芳賀赤十字病院登録医として連携し地域医療に貢献できるよう頑張ります。

基本情報

- 院長：宮本 猛
- 住所：栃木県真岡市東光寺 3-14-3
- TEL：0285-80-2880
- 診療科目：歯科、小児歯科、歯科口外科
- 休診日：木曜日、日曜日、祝日



Topics

芳賀日赤市民公開講座を市貝町で実施

2月7日(金)に市貝町町役場多目的ホールで、本年度2回目となる芳賀日赤市民公開講座を実施いたしました。関澤内科クリニックの関澤大輔医師をお呼びし、「糖尿病について」お話しいただきました。また、当院からは、沼尾消化器内科副部長から「最近の胃がんについて」の話と佐々木恵認知症看護認定看護師から「認知症のことをもっと知ろう」についての話がありました。当日は、約90名の市民の方が参加され、大変盛況でした。



講演をする関澤医師

臨床研修医修了式～初期臨床研修医の小堀医師が当院を卒業～

3月23日(月)、臨床研修医修了式がおこなわれ、同研修に関わった開業医の先生方や職員たちが、当院での初期臨床研修期間(2年間)を修了した小堀 篤也 先生の新たな旅立ちを祝いました。式では小堀先生が研修内容の振り返りを発表し、村上 善昭 副院長(臨床研修管理委員長)から修了証書が授与されました。



修了式の様子

3月をもって2年間の初期研修を修了いたしました小堀です。同期の研修医もおらず、最初はかなり不安でしたが、職員の皆様に温かく接していただき、わからないことがあっても聞きやすい環境があったことで、多くのことを学ぶことが出来ました。今は、初期研修に芳賀赤十字病院を選ばせていただいて本当に良かったと思っております。4月からは自治医科大学病院の消化器外科に入局いたしますが、自分にとって芳賀日赤は地元の病院でもありますので、いつかまた戻って来れる日がくることを願っております。その際はぜひよろしく願い申し上げます。本当にありがとうございました。



研修中の小堀医師

自家末梢血幹細胞移植を行いました

松山院長補佐より当院で実施した細胞移植についての報告を掲載します。自家末梢血幹細胞移植は、がんに対する治療選択肢の一つです。血液をつくる元になる造血幹細胞を、患者さんの体内から前もって取り出し冷凍保存しておきます。次に、大量抗がん剤を投与して、通常量の抗がん剤では殺しきれないがん細胞を死滅させます。その後、冷凍した造血幹細胞を解凍して患者さんの体内に戻し、正常な造血を回復させます。

芳賀赤十字病院では、治療チームを結成して血液がん患者者に対して2019年11月に自家末梢血幹細胞移植を実施し、現在経過良好です。今後も必要な患者さんに移植を行い、治療成績向上に努めます。



移植の様子

Information

新病院寄付の御礼

新病院建設資金
医療機器整備資金 寄付金
(H29～R元年度)

寄付金合計

5,563万円

個人 104件、
法人等41件 (合計145件)

寄付の使い道

新病院建設 2018年12月 竣工、2019年3月 開院
(建設費用 約150億円)

医療機器整備 ○磁気共鳴診断装置 (MRI)
○X線CT装置
○デジタルマンモグラフィ 等
(医療機器費用 約12億円)

寄付金へのご協力、誠にありがとうございました。



●氏名

①役職 ②出身地 ③ひとこと
の順に掲載

Profile

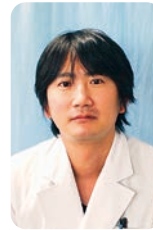
あ の ま さ き
阿野 正樹



①救急部
②山口県
③2020年1月に芳賀赤十字病院救急部に赴任しました。地域の皆様の健康と生活を守るために尽力に努めます。

Profile

こ や し き よ う へ い
小屋敷 洋平



①放射線科
②鹿児島県
③至らない点が多いかと思いますが、よろしくお願いたします。

表紙紹介

読者の方に「読みたい!」と手に取ってもらえるよう、表紙は当院の行事などで撮影した「イチ押し」の1枚!」を掲載しています。

職種別入職者数							
医師	看護師	診療放射線技師	臨床検査技師	言語聴覚士	介護福祉士	薬剤師	事務等
25人	25人	1人	2人	1人	2人	1人	12人

今年度も多くの方が入職されました。新型コロナウイルスの影響で入職時の研修も短縮で行われましたが、地域の皆様に貢献できるように頑張っていたきたいと思います。



芳賀赤十字病院の理念及び基本方針

< 理 念 > 地域に貢献する病院

< 基本方針 >

1. 患者中心の医療
2. 安全で質の高い医療
3. 赤十字の使命に基づいた社会貢献



日本赤十字社
NIPPON RED CROSS SOCIETY

芳賀赤十字病院

〒321-4308 栃木県真岡市中郷 271
TEL 0285-82-2195(代) FAX 0285-84-3332 <http://www.haga.jrc.or.jp/>

詳しくは 芳賀赤十字病院公式 HP <http://www.haga.jrc.or.jp>

f 芳賀赤十字病院公式 facebook

どちらも「芳賀赤十字病院」で検索

芳賀赤十字病院

検索



編集協力/㈱松井ピ・テ・オ・印刷